

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2019年2月8日、株式会社フェイスネットワークは2019年3月期第3四半期決算と配当予想の修正（増配）を発表した。

四半期業績推移（累計） （百万円）	18年3月期				19年3月期			19年3月期	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	Q3進捗率	通期会予
売上高	-	-	8,652	13,946	1,241	2,735	6,675	37.1%	18,000
前年同期比	-	-	-	37.5%	-	-	-22.9%		29.1%
売上総利益	-	-	1,677	2,537	244	519	1,266		
前年同期比	-	-	-	27.3%	-	-	-24.5%		
売上総利益率	-	-	19.4%	18.2%	19.7%	19.0%	19.0%		
販管費	-	-	902	1,300	343	685	1,036		
前年同期比	-	-	-	58.1%	-	-	14.9%		
売上高販管費比率	-	-	10.4%	9.3%	27.7%	25.0%	15.5%		
営業利益	-	-	776	1,238	-99	-166	231	-	1,700
前年同期比	-	-	-	5.7%	-	-	-70.3%		37.3%
営業利益率	-	-	9.0%	8.9%	-	-	3.5%		9.4%
経常利益	-	-	643	1,046	-149	-262	86	-	1,500
前年同期比	-	-	-	1.3%	-	-	-86.7%		43.3%
経常利益率	-	-	7.4%	7.5%	-	-	1.3%		8.3%
四半期純利益	-	-	458	709	-94	-140	125	-	1,100
前年同期比	-	-	-	0.3%	-	-	-72.6%		55.2%
四半期純利益率	-	-	5.3%	5.1%	-	-	1.9%		6.1%
四半期業績推移（3ヵ月） （百万円）	18年3月期				19年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
売上高	-	-	-	-	1,241	1,494	3,940		
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-		
売上総利益	-	-	-	-	244	274	748		
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-		
売上総利益率	-	-	-	-	19.7%	18.4%	19.0%		
販管費	-	-	-	-	343	341	351		
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-		
売上高販管費比率	-	-	-	-	27.7%	22.8%	8.9%		
営業利益	-	-	-	-	-99	-67	397		
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-		
営業利益率	-	-	-	-	-	-	10.1%		
経常利益	-	-	-	-	-149	-113	348		
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-		
経常利益率	-	-	-	-	-	-	8.8%		
四半期純利益	-	-	-	-	-94	-46	265		
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-		
四半期純利益率	-	-	-	-	-	-	6.7%		

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

2019年3月期第3四半期実績

業績概要：

2019年3月期第3四半期（累積）の非連結売上高は6,674百万円（前年同期比22.9%減）、営業利益230百万円（同70.3%減）、経常利益85百万円（同86.7%減）、四半期純利益125百万円（同72.7%減）となった。売上高の期初会社予想に対する進捗率は37.1%であるが、同社によると売上高、利益ともに年間計画通りに順調に推移しているとのことである。同社の四半期売上高は不動産業の性質上、下期に売上高が大きくなる傾向（特に第4四半期）がある。

当第3四半期（累積）までで、不動産商品5棟62戸（うち第3四半期、3棟40戸）、建築商品7棟68戸（同5棟47戸）を販売し、販売用商品の仕込みも進んだ。一方、規模拡大に伴う人員増加のため、人件費等の販売費及び一般管理費を計上した。

主な引渡物件（第2四半期まで）

不動産商品

2棟22戸販売



建築商品

2棟21戸販売



出所：会社資料

事業セグメント別状況

不動産投資支援事業

不動産投資支援事業については、9か月間で、不動産商品5棟62戸、建築商品7棟68戸を販売した。一方、販売用不動産（販売用不動産、仕掛販売用不動産の合計で11,030百万円）は、前年度（2018年3月期）末に比べ、80.9%の伸びを示している。規模拡大に伴う人員増加のため、人件費等の販売費及び一般管理費を計上したことにより、売上高は6,282百万円（前年同期比24.7%減）、セグメント利益は144百万円（同80.4%減）となった。

不動産マネジメント事業

不動産マネジメント事業については、不動産オーナーの所有する不動産の管理運営受託件数増加に伴い、売上高は393百万円（前年同期比26.8%増）、セグメント利益は87百万円（同92.8%増）となった。

財務状況

第3四半期末における総資産は、前年度末に比べ1,761百万円増加し、14,476百万円となった。その要因は、主に販売用不動産が1,575百万円、仕掛販売用不動産が3,358百万円、前渡金が290百万円増加し、現金及び預金が2,684百万円減少したことによるものである。負債は、前年度末に比べ1,783百万円増加し、11,162百万円となった。その要因は、主に、販売用商品の増加により、借入金が増加し、2,553百万円増加し、工事未払金が267百万円及び前受金が242百万円減少したことによる。

よるものである。また、純資産は、前年度末に比べ22百万円減少し、3,313百万円となった。その要因は、主に繰越利益剰余金が四半期利益の計上により125百万円増加し、配当金の支払いにより149百万円減少したことによるものである。

キャッシュフローの状況

当四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前年度末に比べ2,684百万円減少し774百万円となった。

その他

同社としては、第4四半期における引渡し予定が多い状況にあり、売上高、利益ともに年間計画通り推移しているとみており、2019年3月期の通期業績予想は据え置かれた。

また、同社は、決算発表と同時に、経営の重要課題の一つとして、利益還元を位置付け、株主への配当も重視しているとして、2019年3月期の配当を一株当たり5円増配の30円（すべて普通配当。前期は、普通配当25円と記念配当5円）とすることを発表した。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。

SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.

東京都文京区千駄木3-31-12

HP: <https://sharedresearch.jp>

TEL : (03)5834-8787

Email: info@sharedresearch.jp